



2023年度 エコアクション21 環境経営レポート

対象期間(2023年4月～2024年3月)

株式会社エスエムアイ

発行日 2024年 5月30日

目 次

1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 実施体制	6
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	7-9
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
9. SDGsの達成に向けた取り組み	11
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	12

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社エスエムアイ
代表取締役 高田 悠以

2) 所在地

本社 愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目5-17 ネットプラザ柳橋ビル2F
東京営業所 東京都港区港南2丁目16-5 NBF品川タワー5階(WORKSTYLING内)

3) 会社概要

- ・売上高 573百万円(2024年3月期)
- ・資本金 10百万円(2024年3月末現在)
- ・事業年度 4月1日～3月31日
- ・人員、規模等 (2024年3月末現在)

	本社	東京営業所	合計
当事業所の業務概要	管理業務全般	営業拠点	—
従業員数 (うちパート等)	10名 (4名)	1名 —	11名 (4名)
延べ床面積	150.52㎡	12.96㎡	163.48㎡

4) 事業内容

医療機器・産業機器向けスイッチング電源・アダプター・トランス、及び一次側の安全規格部品の販売

5) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 河地直美
環境管理担当者 奥村公宏
Tel 052-414-7127 Fax 052-414-7128
E-mail kawachi@smi-japan.com

2. 対象範囲

1) 取組の対象範囲

全組織・全活動を対象として取り組みます。

2) 環境経営レポートの対象期間

・当年度の対象期間: 2023年4月～2024年3月

3) 対象事業所

・本社、東京営業所

3. 環境経営方針

株式会社エスエムアイ 環境経営方針

【環境理念】

医療用電源のエキスパートとして、私たちの事業活動から発生する、直接・間接の環境負荷を低減するため、自主的、積極的に環境保全活動に取り組みます。

【環境方針】

1. 次の事項について、環境目標、活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物の削減及び再資源化の促進
- ③水使用量の削減
- ④グリーン購入の推進
- ⑤環境に配慮した商品 (DoE) の提供に努めます。

2. 環境に関する法律及び協定を遵守するとともに、関連する社会的要求を遵守します。

環境方針は環境への取り組みの基本的方向を明示し、すべての社員に周知する。

改定日 2020年12月1日
株式会社エスエムアイ
代表取締役 高田悠以

4. 環境経営目標

環境方針に定めた事項につき、基準値を定め次のとおり中期目標及び年次別目標を設定し取組みます。

		単位	基準値 2020年 実績値	年次目標			備考
				2022年度	2023年度	2024年度	
				(2022/4月 ～2023/3 月)	(2023/4月 ～2024/3 月)	(2024/4月 ～2025/3 月)	
二酸化炭素排出量	二酸化炭素の排出量の削減	(削減率%)	-	4%	6%	8%	重点管理目標
		kg-CO ₂	7,462	7,164	7,014	6,865	
	電力使用量の削減	(削減率%)	-	4%	5%	6%	
		kWh	9,987	9,588	9,488	9,388	
	ガソリン使用量の削減	(削減率%)	-	2%	3%	4%	
		ℓ	1146	1,123	1,112	1,100	
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	(削減率%)	-	3%	4%	5%	重点管理目標
		kg	679	659	652	645	
	産業廃棄物排出量の削減	(削減率%)	-	3%	4%	5%	
		kg	24	23	23	23	
水使用量の削減	-	-	3%	4%	5%		
	m ³	149	145	143	142		
働き方改革（前年比削減率）	(前年比%)	-	6%	7%	8%		
グリーン購入率の向上	%	100%	100%	100%	100%		
	(目標%)	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持		

注) 1. 電気使用量の二酸化炭素排出係数は、中部電力(株) 0.485kg-CO₂(2016年実績)を使用しています

2. 化学物質は、使用していません。

3. グリーン購入は、対象商品を絞り込み購入率を把握しています。

4. ガスは使用していません。

5. 二酸化炭素の排出量と電気使用量の基準値は、2020年の実績値です。

6. ガソリン、廃棄物、水は、2020年の目標値が基準値です。

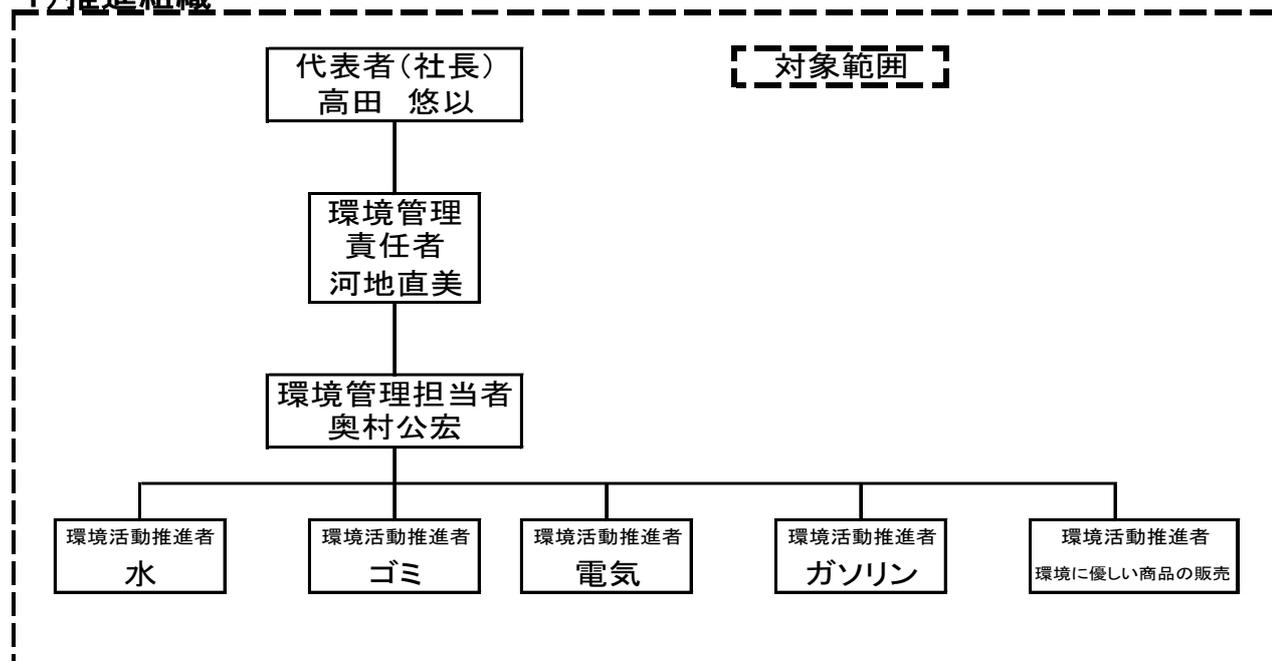
7. 働き方改革の削減目標は、前年比削減率です。(2023年度残業時間の実態は、1人あたり 5時間/月)

5. 環境経営計画

環境目標	取組内容 (達成手段)	実施 区分	実施部門 (責任者)
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減 1. 照明: 休憩時・不使用時消灯 2. OA機器: 不使用時省エネモード、電源OFF 3. 空調機器温度設定と励行(夏季: 28℃、冬季: 21℃) 4. 残業時間の短縮	継続	河地
	ガソリン使用量の削減 1. エコドライブを心がける (・急発進・急加速の禁止・アイドリングストップ・空ふかしの禁止・ タイヤ空気圧適正保持・不要な荷物・積載オーバーをしない) 2. 運転日報をつける 3. 公共交通機関の利用を心がける	継続	運転者
廃棄物 廃棄物排出量の削減	1. 分別の徹底 2. コピー紙両面印刷の励行 3. 段ボールの再利用 4. 紙類の緩衝材としての再利用 5. 持ち込むゴミを減らす	継続	奥村
水使用量の削減	1. 節水掲示 2. 節水の呼びかけ	継続	北野
グリーン購入	1. 購入品のエコ商品調査 2. 購入時エコ商品選択	継続	河地
働き方改革(残業時間の削減)	1. 部門を超え情報共有をすることで、業務の効率化を図り、 残業時間を削減する	継続	荒津
社会貢献活動	1. 事務所周辺の清掃活動を定期的に行う	継続	田中

6. 実施体制

1) 推進組織



2) 役割と責任・権限

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営の統括責任者 経営資源(人員・設備・費用)の準備 環境経営方針の策定 環境管理責任者を任命 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理の責任者 環境経営目標・環境経営計画の承認 環境経営の管理状況(実施状況と結果)を代表者へ報告 全社員への周知、教育と訓練 環境経営レポートの作成責任者
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 EA21推進委員会の定期開催とその事務局 環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動のデータ収集と実績まとめ 環境関連法規等取りまとめと遵守状況のチェック 環境経営管理文書・記録の作成と保管 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
担当者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施(自部門内・・・以下同じ) 従業員への環境方針の周知 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 手順書作成及び運用管理 緊急事態への対応のための手順書作成 教育・訓練実施、記録の作成 問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境経営への取り組みの重要性を自覚 自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

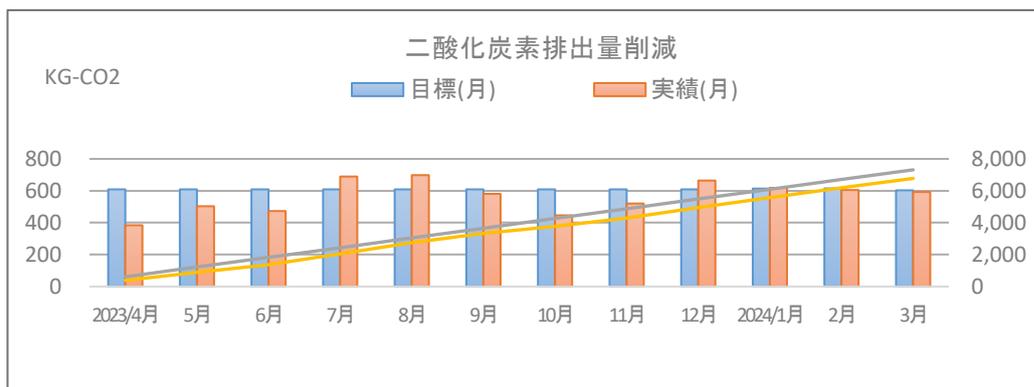
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

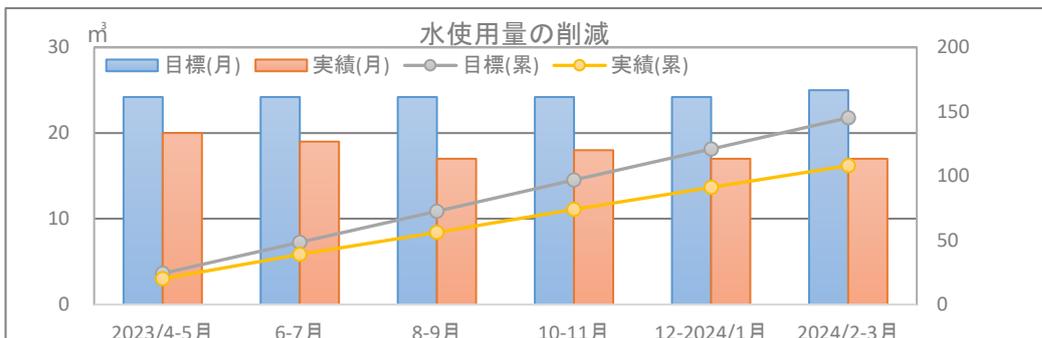
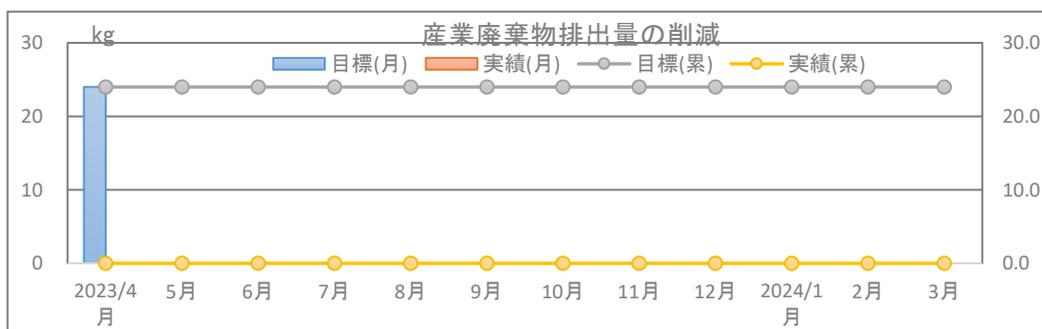
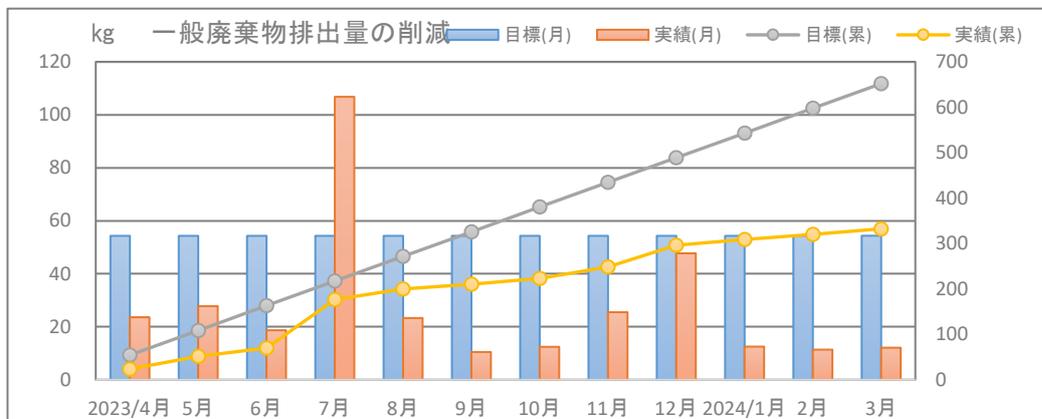
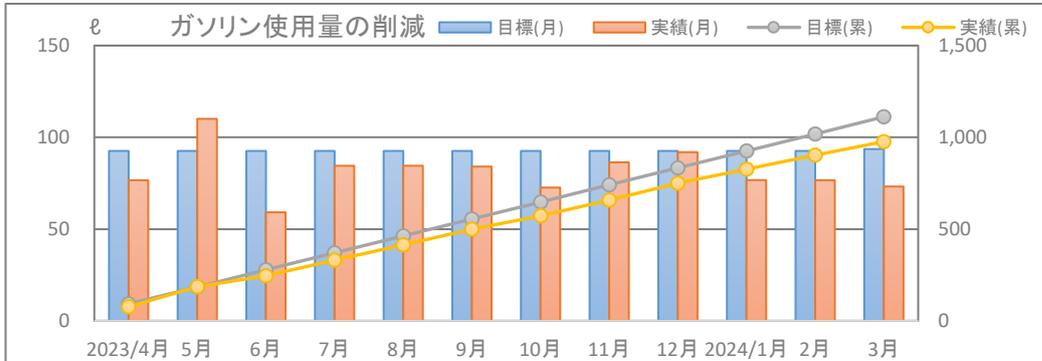
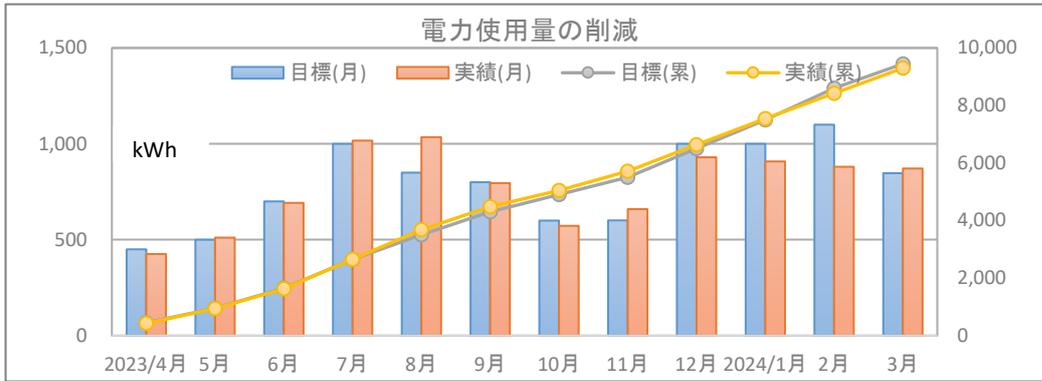
1) 当期の目標と実績

評価基準：○：達成度100%以上、△：90%以上～100%未満、×：90%未満

項目	単位	基準値 2020年 実績値	目標	実績	達成度 (%)	評価	
			2023年度 (2023/4月～2024/3月)				
二酸化炭素排出量	二酸化炭素の排出量の削減	(削減率%)	—	6%	4%	104%	○
		Kg-CO2	7,462	7,014	6,775		
	電力使用量の削減	(削減率%)	—	5%	2%	102%	○
			kWh	9,987	9,488		
	ガソリン使用量の削減	(削減率%)	—	3%	12%	114%	○
			ℓ	1,146	1,112		
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	(削減率%)	—	4%	50%	196%	○
			kg	679	652		
	産業廃棄物排出量の削減	(削減率%)	—	4%	100%	100%	○
			kg	24	23		
水使用量の削減	(削減率%)	—	4%	24%	132%	○	
		m ³	149	143			108
働き方改革(前年比の残業時間の削減率)	(目標%)	—	7%	21%	333%	○	
グリーン購入率の向上	購入率	100%	100%	100%	100%	○	
	(目標%)	現状維持	現状維持	現状維持			

- 注) 1. 電気使用量の二酸化炭素排出係数は、中部電力(株) 0.485kg-CO₂(2016年実績)を使用しています。
 2. 化学物質は、使用していません。
 3. グリーン購入は、対象商品を絞り込み購入率を把握しています。
 4. ガスは使用していません。
 5. 働き方改革は、前年比の削減率です。





※2) 次年度の環境経営目標は、4ページに記載済み。

2) 取組結果の評価と次年度の取組

環境目標項目		達成度 評価	環境活動計画実施状況 達成・未達成の要因	環境活動計画への追加・変更 と次年度の取組
二酸化炭素 排出量	電力使用量の削減	○	昼の休憩時は可能な限り消灯し、毎日チェックをした。	引き続き継続していく。
		○	クールビズ・ウォームビズの導入。サーキュレーターを使用し社内全体の温度が一定になるよう努めた。	引き続き継続していく。
		○	フレックスを導入したことで、より効率よく業務をし、早く帰るようになった。	引き続き継続していく。
	ガソリン使用量の削減	○	エコドライブを心がけた。	引き続き、エコドライブを心がける。
		○	運転日報をつける	引き続き継続していく。
		◎	リモート会議等を導入し、移動手段を少なくした結果、ガソリン使用量の削減が出来た。	引き続き継続していく。
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	○	分別の徹底とコピー用紙の両面印刷の励行。ペーパーレスの普及。	引き続き継続していく。
	産業廃棄物排出量の削減	○	段ボールを再利用をした	引き続き継続していく。
	産業廃棄物排出量の削減	◎	排出がなかった	次年度も廃棄物となるものの持ち込みを減らし排出を減らす
	水使用量の削減	◎	節水掲示と声掛け	節水の声掛け
	働き方改革	◎	ノー残業デーの実施、仕事の効率化	引き続き継続していく。
	社会貢献	○	地域の清掃活動を行った	第1・第3の地域の清掃活動の継続
	グリーン購入率の向上	◎	100%購入達成しており、継続する。	継続して購入していく

※達成度評価基準：○は実施した。◎は手順通りに実施出来た。

※ガスは使っていません。

※化学物質は使っていません。

避難訓練



周辺地域の清掃活動



イチゴの水耕栽培の実施



節電



節水の呼びかけ



8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社が、法的規制を受ける環境関連法等と遵守すべき規制の内容の確認結果は、次表のとおりです。

環境関連法等の名称	規制事項等	主な規制の内容	遵守状況
廃棄物処理法(名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例)	一般廃棄物 産業廃棄物	許可業者と契約、処分、マニフェスト発行と管理。管理票交付状況報告、処理状況の確認	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	業務用エアコン	エアコンの適切な場所への設置 定期点検と記録簿の保管	遵守
資源の有効な利用の促進に関する法律	パソコン、小型二次電池使用機器	長期間使用 廃棄時再資源化	遵守
特定家庭用機器再商品化法	エアコン、テレビ 冷蔵庫、洗濯機	廃棄時再商品化等するものへの引き渡し リサイクル料金料金と収集・運搬量の支払い	遵守
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	使用済み小型電子機器	分別排出と再資源化を適正に実施する者への引渡し	遵守
使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済み自動車	引取り業者への引き渡し リサイクル費用の預託	遵守
東京都 都民の生活環境保全に関する条例	原動機の停止指導の周知	アイドリングストップの励行 従業員駐車場等にアイドリングストップの掲示	遵守
取引先グリーン調達ガイドライン	物品購入	環境物品等の選択	遵守

環境関連法規制等チェック表により確認の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

また、行政機関および近隣からの苦情や違反の指摘・指導もなく、訴訟等も過去3年間ありません。

エスエムアイは、事業活動を通じて、以下のSDGsの達成に向けた取り組みを重点的に行っていきます。



エスエムアイでは、女性活躍推進法に基づき、行動計画を策定し全ての女性が職業生活において、十分に能力を発揮することができる、働きがいのある職場環境を目指して継続的な取り組みを進めています。



エスエムアイでは、さらに厳しくなる見通しである世界的規制に確実に準拠するため、協力企業と共に最新の規制情報や同行をチェックし、エネルギー効率への継続的な努力を続けております。



2019年8月に「ホワイト企業認定」を取得しました。社員1人1人が働くことを楽しむことができれば、当社の理想とする「真の顧客満足」にさらに近づけると信じて日々改善を続けております。



組織でのダイバーシティとは、国籍、性別、年齢、宗教などに固執することなく、多様な人材を受け入れ活かすこと。エスエムアイではさまざまな違いを尊重して受け入れ、「違い」を積極的に活かすことで、変化し続けるビジネス環境や多様化する顧客ニーズに最も効率的に対応し、イノベーションを生み出し価値創造を目指します。



次世代へより良い環境を引き継いでいくための取り組みを行うことが重要な責務と考えており、事業活動における地球環境への配慮に努めています。環境活動の一環として、エコアクション21の取り組みも継続していきます。



ROHS指令、REACH規制は、EU(欧州連合)の定める化学物資に関する法規制で、遵守しなければなりません。環境及び品質に対し妥協することは許されないと考えております。CSRの観点からも将来に向けた重要な取り組みと捉えておりサプライヤーとお客様に取り組みの理解と協力を継続していきます。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

電気、ガソリン、水の使用量、廃棄物の排出の削減目標は達成出来ました。また、残業時間の削減についても達成出来ました。残業時間の削減については、社員の意識も高く、今期も業務の更なる効率化を目指し、情報や書類等、業務に関わるシステムの一元化に取り組みました。それにより必要な情報、書類がどこにあるのかわかりやすくなったことで、業務の時短にもつながり、効率よく仕事が出来るようになったと思います。

こうした取り組みが、残業時間の削減にも繋がったかもしれません。

その他の活動として、地産地消の観点から、今年も水耕栽培を行いました。

イチゴの水耕栽培にチャレンジし、わずかですが、イチゴが生ったのは、嬉しかったです。

草花や食べ物を育てることは、自然にも触れ、成長や収穫を楽しみに出来ますし、なにより社員のコミュニケーションも増え、癒し効果もあると考えます。

今後も新しい取り組みを探しつつ、活動の幅を広げていけたらと思います。

来期も大きな変更を行わず、実施体制を継続し、今まで以上に削減努力の徹底をしつつ、お客様への提供等の営業活動を活発に展開し、売上増に繋げることを目指します。

代表取締役 高田 悠以